

国土交通大臣 太田 昭宏 様  
環境大臣 石原 伸晃 様

臨港道路「霞 4 号幹線」のルートを短縮し高松干潟を保全してください  
(要望書)

臨港道路「霞 4 号幹線」は、平成 4 年に計画が構想され、平成 15 年にルートが決定、翌 16 年に国の直轄事業として建設が始まりました。

ルートが愛知県・藤前干潟と並ぶ伊勢湾奥域に残された貴重な高松干潟を通ることから、環境保護団体等が当時反対運動を繰り広げましたが、四日市港管理組合は四日市港霞ヶ浦ふ頭で取り扱うコンテナ貨物量が今後飛躍的に伸び、それに伴い発生する港湾交通量が大幅に増大するなどとして、反対の声を押し切り計画を決定。現在、国交省が建設工事をすすめています。

しかし、その後港湾交通量はまったく増加せず、当時説明していた建設理由は存在していないにもかかわらず、建設は見直しされることなく、当初計画のまますすめられています。

必要のない道路建設によって、沿道住民は騒音・振動・排ガスの苦しみをこうむります。

そして、多様な海浜動植物が生息しウミガメが産卵する、また、近隣の海岸がすべて工場地帯として埋め立てられている中で、大勢の地域・近県住民が潮干狩りやマリンスポーツなど自然を満喫できる絶好の場として親しんでいる貴重な自然海岸・干潟が大きなダメージを受けます。

こうしたことから、私たちは当初計画のままの建設継続にどうしても納得できません。

つきましては、下記のとおり要望します。是非とも私たちの声をお聞きいただきますようお願いいたします。

(要望事項)

1. 臨港道路「霞 4 号幹線」のルートを、高松海岸南で国道 23 号に接続し、同海岸以北の建設を中止して、高松自然海岸・干潟を保全してください。
2. 伊勢湾台風後に建設され老朽化している高松海岸堤防の補強工事を出来る限り早く行ってください。

氏 名	住 所

〔取扱団体〕 「霞 4 号幹線と高松干潟を考える会」 (構成団体／高松干潟を守ろう会、川越町の自然と環境を思う会、四日市再生・公害市民塾、NPO 環境市民大学よっかいち、エアージャンク、四日市まちづくり市民会議 会長／水谷いずみ ☎059 - 365 - 6609)